

# 岩手県平泉町

素材研究  
(国内)



平泉への教育旅行を象徴する坐禅体験  
(毛越寺)



紅葉を迎えた時期の遣水の遣水(毛越寺)



## 7カ国語対応の音声ガイドペンを導入 外国人客向け対応を強化、教育旅行回復も



平泉の文化遺産の魅力を伝える平泉文化遺産センター



浄土庭園の中心となる大泉が池  
(毛越寺)



中尊寺創建当初の姿を今に伝える  
金色堂の新覆堂

天治元年(1124年)に上棟された  
金色堂(中尊寺)は、全体が一つの美術  
工芸品のようです

中尊寺や毛越寺など5つの資産が世界文化遺産に登録されてから5周年を迎える今年、岩手県平泉町では6月から11月まで様々なイベントが繰り広げられます。3月末の北海道新幹線開業で、北東北北海道エリアへの注目が集まる中、「平泉」も改めて存在感を増すことになりそうです。

### 「世界遺産」5周年で様々なイベント

平泉町によると、「平泉」が世界文化遺産に登録された翌年の2012年に264万人まで増加した観光入込客数は、2013年が214万人、2014年は200万人、2015年が193万人と漸減傾向を辿ってきています。

平泉観光協会の千葉繁事務局長によると、世界遺産登録後に入込客数が減少するのは、各地で共通の「反動現象」ですが、世界遺産登録から5周年を迎える今年、「反転上昇を目指して、積極的な誘客を図りたい」(千葉事務局長)考えです。

6月に中尊寺秘仏御開帳や毛越寺藤原三代画像特別公開展などが開催されるのをはじめ、9月にも世界遺産登録5周年記念式典と平泉歌舞伎、平泉町町制施行60周年記念式典が集中するなど、様々なイベントが予定されています。3月末には北

海道新幹線が開業することから、北海道民による東北観光への注目も集まり、インバウンド市場でも北海道北東北エリアへの関心が高まっているようです。

### 外国人客にも平泉文化の理解を

平泉町を訪れる外国人旅行者数は、2013年の9606人から2014年に1万4131人(前年比47.1%増)、2015年には2万1214人(同50.1%増)へ高い伸びを維持しています。

こうした外国人旅行者の急増を受け、平泉観光協会では今年4月から音声ガイドペンを導入する予定です。ガイドブックに専用のペンを押し当てるだけで外国語の解説が聞けるため、「外国人旅行者にも平泉文化への理解を深めてもらえる」(千葉事務局長)と期待されています。音声ガイドペンは、日本語のほか、英語、韓国語、中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語の7カ国語が用意され、中尊寺とJRR平泉駅前の観光案内所、毛越寺の3カ所で300本がレンタルされる予定です。

平泉町では昨年7月から12月にかけて、東日本大震災後に減少した教育旅行需要の回復を目指し、北海道から九州まで14都道府県を回るキャラバンを実施しました。千葉事務局長は、「農作業体験のメニューも豊富で、歴史や文化を学ぶ体験学習と組み合わせ、平泉の魅力を発信したい」と意欲を示しています。